

(アリス館)

6万部 突破『バスが来ましたよ』著者 由美村 嬉々 氏 最新刊！

NHK ドキュメント72時間でも紹介された、あの“うどん・そば自販機” ついに書籍化！

ぼくは ぽんこつ じはんき

由美村嬉々 文/山本久美子 絵

2024年
11月6日発行

株式会社あさ出版(代表取締役:田賀井弘毅、所在地:東京都豊島区)は、由美村嬉々 文/山本久美子 絵『ぼくは ぽんこつ じはんき』を2024年11月6日(水)に刊行いたします。

「ぽんこつ じはんき」について

秋田県にある「佐原商店」で50年以上、地元にも愛され日々誰かがやってきている“うどん・そばの自販機”。「佐原商店」の閉店に伴い、なくなる危険もありましたが、地元民の強い要望などもあり、道の駅あきた港 SELION(セリオン)※に移設され今なお、たくさんの人々に温かなうどん・そばを提供しています。そんな自販機と人々の心温まるエピソードが創作絵本になりました。

※道の駅あきた港 SELION(セリオン) :所在地 〒011-0945 秋田市土崎港西1丁目9番1号

あらすじ

ぼくは、ぽんこつじはんき。

24時間365日、

今日もまた海を見ながら、

みんなが来るのを待っている。

海に見えるその町に1台のぽんこつの自販機がありました。

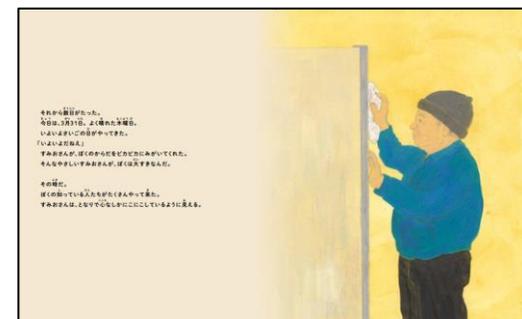
そのぽんこつ自販機には、毎日毎日たくさんの人が訪れます。

散歩途中の親子、デート中の恋人たち、仕事中の運転手さん、悩みを抱えた社長さん。

彼らはぽんこつ自販機がつくった温かーいうどん、そばを食べながら

いろいろな話をし、笑い、悩み、考えて、また自分たちの場所に戻っていきます。

そんな日常が続くと思っていたある日、思ってもいなかったことが起きたのですー。



絵をてがけるのは、2003年、05年にイタリア・ボローニャ国際絵本原画展入選 山本 久美子 氏。



文：由美村 嬉々（ゆみむら・きき）

三重県生まれ。作家・編集者・絵本カタリスト®・JPIC読書アドバイザー。一般社団法人チャイルドロアクリエイイト代表理事。桐原書店、朝日新聞社勤務後、フレーベル館に入社。児童図書、保育図書の編集者を経て、出版事業本部取締役をつとめた。著書に、絵本『バスが来ましたよ』（絵 松本春野／アリス館）、『ぼくたちのことをわすれないで』（絵 鈴木まもる／佼成出版社）『ほんとうは、どうしたいの？』（絵 すみもとななみ／講談社）ほか。木村美幸名義の著書に、エッセイ『これだけは読んでおきたい すてきな絵本100』（風鳴舎）、『100歳で夢を叶える』（晶文社）、『絵本で実践! アニマシオン』（北大路書房）などがある。

絵：山本 久美子（やまもと・くみこ）

群馬県生まれ。多摩美術大学卒業。2003,2005年ボローニャ国際絵本原画展入選。絵本の仕事に『マルをさがして』『きんぎょ』（以上、ひだまり舎）、『じてんしゃ がしゃがしゃ』（文 かさいまり／絵本塾出版）、『くじらのぷうぷう』（文 はらまさかず／イマジネーション・プラス）、『ぼくはまっくろ』（文 原陽子／リーブル）など。日本児童出版美術家連盟会員。

書籍概要

タイトル：ぼくは ぽんこつ じはんき

著者：由美村嬉々 文/山本久美子 絵 ページ数：40ページ 価格：1,540円(10%税込)
発行日：2024年11月6日 ISBN：978-4-86667-710-1 判型：AB版上製

「ぽんこつ じはんき」のエピソードが紹介されました。

- ◆NHK「ドキュメント72時間」(2015.3.6他)
※視聴者投票により歴代1位エピソードに選ばれました！
- ◆TBS「Nスタ」(2016.3.9)
- ◆テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」(2016.3.21)
- ◆フジテレビ「情報プレゼンター とくダネ!」(2016.5.6)
- ◆読売新聞「顔」(2016.9.5)
- ◆河北新報/秋田魁新報でもたびたび紹介



書評・著者インタビュー等をご検討いただけますと幸いです。情報掲載、画像提供の問い合わせ

古垣(フルガキ)TEL:03-3983-3225/090-4424-6911 / E-mail:furugaki@asa21.com

株式会社あさ出版 東京都豊島区南池袋2-9-9 第一池袋ホワイトビル6階